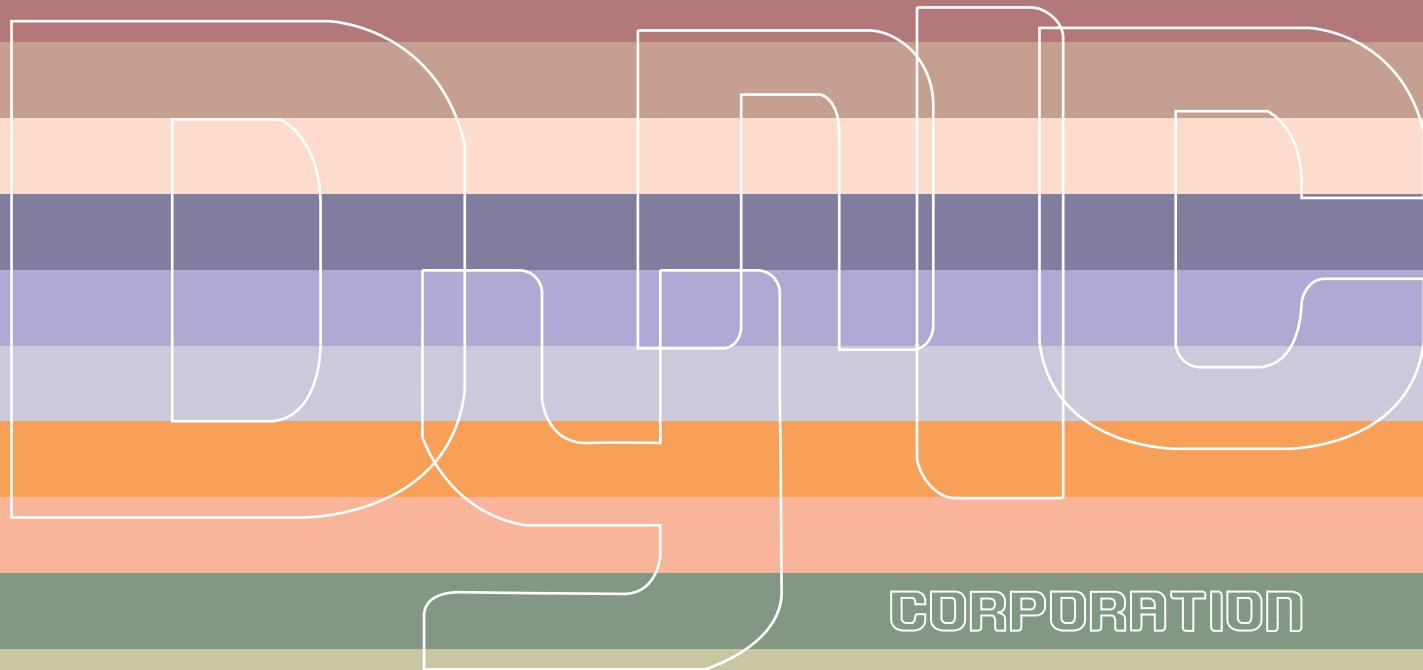




(証券コード 3551)

# 第155期中間報告書

平成29年4月1日～平成29年9月30日





株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

当社グループ第155期中間期（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申しあげます。

第155期前半期の業績は、売上高につきましては、印刷情報関連事業および包材関連事業は前年を上回りましたが、産業用ターポリンや衣料用接着芯地の売上が低迷し、住生活環境関連事業およびその他の事業が前年を下回りました。利益面につきましては原価低減の改善が進み、前年を上回り、連結ベースで別記のような結果となりました。

後半期の当社グループを取り巻く環境は、引き続き厳しい状況が予想されます。このような環境のなか、顧客ニーズに応えた製品開発をより迅速化し、国内外グループ会社との連携を強化するとともに、更なる原価低減を推し進め、経営体質の強化に努めてまいります。

今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月

代表取締役社長 大石義夫

会社概要 (平成29年9月30日現在)

商号 ダイニック株式会社  
 DYNIC CORPORATION  
 〒615-0812  
 京都市右京区西京極大門町26  
 TEL 075-313-2111  
 FAX 075-313-2116  
 東京本社 〒105-0004  
 東京都港区新橋6-17-19(新御成門ビル)  
 TEL 03-5402-1811  
 FAX 03-5402-3146  
 ホームページ <http://www.dynic.co.jp>  
 創立 1919年8月18日  
 資本金 57億9,565万円  
 発行済み株式数 42,523千株  
 社員数 グループ合計 1,412名  
 営業所/事務所 (グループ含む) 札幌、東京、名古屋、京都、大阪、福岡、香港、シンガポール、米国、タイ、英国、中国、インドネシア  
 工場 (グループ含む) 滋賀、静岡、東京、埼玉、栃木、シンガポール、米国、タイ、英国、中国、インドネシア  
 関連会社 国内6社、海外10社  
 主要商品 ●文具紙工品用クロス ●壁装材  
 ●出版用クロス ●カーペット  
 ●プリンターリボン ●自動車内装用資材  
 ●銀行通帳用クロス ●各種フィルター  
 ●フィルムコティング盤 ●不織布  
 ●磁気関連製品 ●産業用ターポリン  
 ●表示ラベル用素材 ●接着芯地  
 ●名刺プリンタ ●各種ファンシー商品  
 ●有機EL用水分除去シート ●食品包装材料  
 ●パッケージフィルム加工 ●紙管紙器

役員 (平成29年9月30日現在)

取締役会長	細田敏夫
代表取締役社長	大石義夫
常務取締役	公文野弘
常務取締役	河野秀昭
常務取締役	市川仁司
常務取締役	眞住慎也
取締役	木村博
取締役	北村圭
取締役	小澤正
取締役	遠藤一
取締役	辻正次
常勤監査役	矢部明
常勤監査役	福岡浩
監査役	大場三
監査役	大角英司

(注) 取締役辻正次氏は社外取締役、また監査役大場将弘、大角英司の両氏は社外監査役であります。

## 経営の実績 当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が進み緩やかな回復基調で推移しております。一方で、米国の政権運営への懸念、英国のEU離脱問題、北朝鮮をはじめとする地政学リスク等、先行き不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、引き続き収益改善への取り組みを継続してまいりました。

その結果、売上高は19,841百万円（前年同四半期比0.7%増）となりました。

利益面につきましては、営業利益570百万円（前年同四半期比28.3%増）、経常利益690百万円（前年同四半期比24.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は580百万円（前年同四半期比62.0%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高が含まれております。

### ■印刷情報関連事業

印刷被写体においては、低迷していた布クロスは、出版用途での大型受注があった事に加えてパッケージ用途でも大型受注があり、前年同四半期比増となりました。

ビジネスフォームは、金融機関向けを中心に堅調に推移し前年同四半期比増となりました。

印字媒体においては、主力のラベル等の印字用熱転写リボンが国内・海外とも堅調に推移し、前年同四半期比増となりました。

その結果、当セグメントの売上高は8,516百万円（前年同四半期比1.9%増）、営業利益は502百万円（前年同四半期比2.2%減）となりました。

### ■住生活環境関連事業

壁装材は、堅調に推移し前年同四半期比増となりました。

産業用ターポリンは、主力のコンテナをはじめ、全国的に売上低調で前年同四半期比減となりました。

不織布は、展示会用カーペットおよび車輛の天井材・内装材が堅調に推移し、前年同四半期比増となりました。

衣料用接着芯地は、国内・海外ともに低調で、前年同四半期比減となりました。

その結果、当セグメントの売上高は6,738百万円（前年同四半期比1.7%減）、営業利益は274百万円（前年同四半期比41.2%増）となりました。

### ■包材関連事業

食品包材・蓋材は、国内販売が堅調に推移し、海外向けも当四半期より回復傾向にあり前年同四半期比増となりました。

医療用パップ剤用フィルム加工は、ほぼ前年同四半期並みとなりました。

その結果、当セグメントの売上高は3,211百万円（前年同四半期比3.9%増）、営業利益は206百万円（前年同四半期比24.5%増）となりました。

### ■その他

商品運送・保管は、受注が減少し、前年同四半期比減となりました。

ファンシー商品は、全般的に低調で前年同四半期比減となりました。

その結果、売上高は2,010百万円（前年同四半期比0.1%減）、営業利益は76百万円（前年同四半期比7.6%減）となりました。

## 通期の見通し

下半期の経営環境は依然として不透明な状況が予想されますが、当社グループにおいては、通期でのグループ業績見通しは大きく変動しないものと考えており、以下のとおり見込んでおります。

		連 結 (対前年比)	
		百万円	%
売	上	41,000	( 2.3)
営	業	1,250	( 4.2)
経	常	1,350	( △1.5)
親会社株主に帰属する当期純利益		950	( 11.5)

# 財務諸表の概要 (連結)

## 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

### ■資産の部

科 目	前 期 平成29年3月31日現在	当第2四半期 平成29年9月30日現在
<b>流動資産</b>	<b>21,707</b>	<b>23,437</b>
現金及び預金	3,034	3,990
受取手形及び売掛金	10,586	11,178
たな卸資産	7,334	7,399
繰延税金資産	321	340
その他の流動資産	506	603
貸倒引当金	△74	△73
<b>固定資産</b>	<b>31,321</b>	<b>32,898</b>
有形固定資産	19,691	20,034
建物及び構築物	5,031	5,037
機械装置及び運搬具	3,389	3,416
土地	10,280	10,253
その他の有形固定資産	991	1,328
無形固定資産	62	66
投資その他の資産	11,568	12,798
投資有価証券	7,719	9,178
繰延税金資産	148	144
その他の投資	3,742	3,517
貸倒引当金	△41	△41
<b>資産合計</b>	<b>53,028</b>	<b>56,335</b>

### ■負債の部

科 目	前 期 平成29年3月31日現在	当第2四半期 平成29年9月30日現在
<b>流動負債</b>	<b>21,971</b>	<b>23,362</b>
支払手形及び買掛金	7,733	9,006
短期借入金	11,985	11,739
未払法人税等	179	295
設備関係支払手形	282	573
その他の流動負債	1,792	1,749
<b>固定負債</b>	<b>12,451</b>	<b>12,920</b>
長期借入金	7,023	7,052
退職給付に係る負債	1,923	1,843
再評価に係る繰延税金負債	1,299	1,299
その他の固定負債	2,206	2,726
<b>負債合計</b>	<b>34,422</b>	<b>36,282</b>

### ■純資産の部

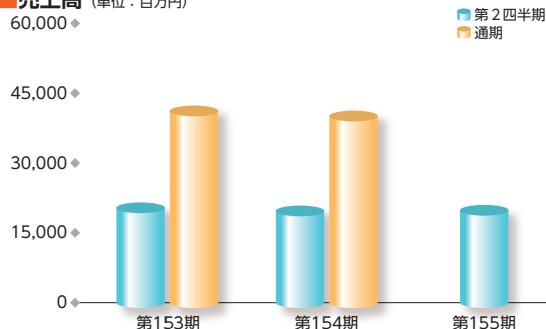
科 目	前 期 平成29年3月31日現在	当第2四半期 平成29年9月30日現在
<b>株主資本</b>	<b>13,700</b>	<b>14,067</b>
資本金	5,796	5,796
資本剰余金	945	945
利益剰余金	6,991	7,359
自己株式	△32	△33
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>4,702</b>	<b>5,813</b>
その他有価証券評価差額金	2,210	3,389
土地再評価差額金	2,799	2,799
為替換算調整勘定	△127	△205
退職給付に係る調整累計額	△180	△170
<b>非支配株主持分</b>	<b>204</b>	<b>173</b>
<b>純資産合計</b>	<b>18,606</b>	<b>20,053</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>53,028</b>	<b>56,335</b>

## ■ 四半期連結損益計算書

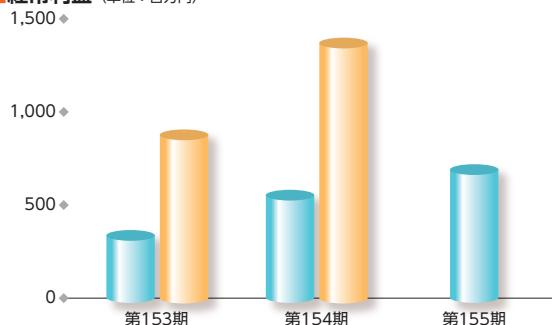
(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 平成28年4月1日～ 平成28年9月30日	当第2四半期 平成29年4月1日～ 平成29年9月30日
売上高	19,712	19,841
売上原価	15,986	16,024
売上総利益	3,726	3,817
販売費及び一般管理費	3,282	3,247
営業利益	444	570
営業外収益	288	295
営業外費用	179	175
経常利益	553	690
特別利益	76	132
特別損失	130	16
税金等調整前四半期純利益	499	806
法人税等	153	248
四半期純利益	346	558
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△12	△22
親会社株主に帰属する四半期純利益	358	580

## ■ 売上高 (単位：百万円)



## ■ 経常利益 (単位：百万円)

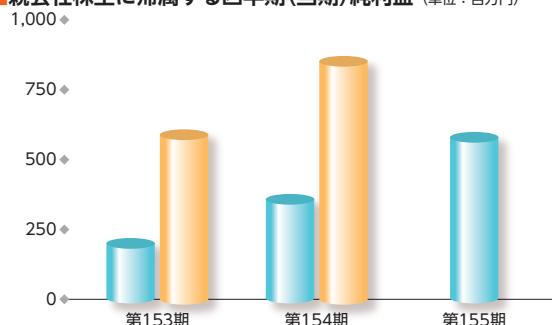


## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 平成28年4月1日～ 平成28年9月30日	当第2四半期 平成29年4月1日～ 平成29年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	766	1,299
投資活動によるキャッシュ・フロー	△463	△245
財務活動によるキャッシュ・フロー	△77	△294
現金及び現金同等物に係る換算差額	△90	△14
現金及び現金同等物の増減額	136	746
現金及び現金同等物の期首残高	2,711	2,838
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,847	3,584

## ■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位：百万円)



## ●パッケージ向け紙クロスの新製品を発売

しっとりとした潤いを感じさせる触り心地と上品な色合いが調和した「モイスライク」と、お菓자에トッピングするスプリングルシュガーをちりばめたような個性あふれる外観の「スプリングル」の二つの新製品を発売しました。両製品とも貼り箱などのパッケージ用途での採用を目指しています。なお、スプリングルはパッケージデザイナーの三原美奈子氏との共同開発です。



モイスライク (全6色)



スプリングル (全6色)

## ●デザイナーズ非常持出袋の新色にターポリンが採用

平成24年にグッドデザイン賞を受賞した(有)防災防犯ダイレクトのデザイナーズ非常持出袋に、新たにブラック、ピンク、パープル、レッド、グリーン、オレンジ、ネイビーが追加されました。初回のホワイトに引き続き、当社製のターポリン「ES500F」が使用されています。



新たに追加された7色の非常持出袋

## ●ビニールクロスの新製品を発売

179色の豊富な色展開を有するビニールクロス「ロンニック」に新製品が追加されました。新製品「ロンニックGPブライト」は淡くて柔らかな輝きが特徴で、婚礼用のアルバム表紙の他、ダイアリー表紙、書籍表紙等への展開を図っています。



ロンニックGPブライト (全4色)

## ●単元株式数の変更と株式併合のご案内

当社は、平成 29 年 10 月 1 日を効力発生日として、単元株式数の変更および株式併合を行いました。

なお、この単元株式数の変更および株式併合に伴う株主様による特段のお手続きの必要はありません。

### (1) 単元株式数の変更

当社株式の売買単位である単元株式数を、1,000 株から 100 株に変更いたしました。

### (2) 株式併合

①当社の普通株式について、5 株を 1 株の割合で株式併合を実施いたしました。

なお、株式併合により、ご所有の株式数の純資産等は変動しませんので、株式市場の変動など他の要因を除けば、資産価値が変わることはありません。

②株式併合の結果、1 株に満たない端数株式が生じた株主様につきましては、会社法の定めに基づき、全ての端数株式を当社が一括して売却処分し、その端数の割合に応じた処分代金をお支払いいたします。

## ●単元未満株式の買取・買増制度のご案内

証券取引所（金融商品取引所）で売買できない単元未満株式は、以下の方法で処分することができます。

### ●単元未満株式の買取制度を利用

単元未満株式を当社に対して市場価格で売却する制度です。



### ●単元未満株式の買増制度を利用

単元未満株式を当社から市場価格で買い増して、単元株とする制度です。



単元未満株式の買取および買増にかかる当社の手料は**無料**※です。ご利用をご検討ください。

※お取引のある証券会社等へ支払う手数料については、別途証券会社等にご確認ください。

本件に関してご不明な点がございましたら、お取引の証券会社、または下記の当社株主名簿管理人までお問い合わせください。

### 株主名簿管理人

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-288-324（フリーダイヤル）

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
基準日	3月31日	
定時株主総会	3月31日	
剰余金の配当	3月31日（中間配当を行なう場合は9月30日）	
定時株主総会	6月下旬	
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部	
	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店 舗）でもお取扱いたします。  みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※) (※)トラストラウンジではお取扱でき ませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払い	みずほ信託銀行(※) およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行なっていただく必要があります。
上場証券取引所	東京	
証券コード	3551	
公告方法	当社のホームページ ( <a href="http://www.dynic.co.jp">http://www.dynic.co.jp</a> ) に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	



〒105-0004  
東京都港区新橋 6-17-19 (新御成門ビル)  
TEL 03-5402-1811 FAX 03-5402-3146



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。